

石鎚山系の ニホンジカ

～知ろう！シカのこと、森の今～

え、シカって悪者？

近年、日本各地で増えすぎたニホンジカによる農林業や自然植生への被害が問題になっています。

石鎚山系でも2000年以降、シカが徐々に増え始め、現在では全域で見られるようになりました。特に東部では広葉樹やササへの食害が目立ち始めています。今後、石鎚山や周辺の山々にみられる希少植物や重要な植生への影響が心配されます。

今から100年ほど前、石鎚山系にはあまりシカがすんでいませんでした。なぜ、シカが増えたのか？そもそもシカってどんな動物なのか？シカのこと、森の今を知って、私たちと野生動物の関係を見つめ直してみましょう。

あなたはシカの食べあとを見分けられるか？

剥製でシカの巨体を
体感しよう！

角や頭骨から
シカの生態を
知ろう！

2021 6.01 (THU) - 6.27 (SUN)

【場所】面河山岳博物館

愛媛県上浮穴郡久万高原町若山 650 番地 1

Tel.0892-58-2130 Fax.0892-58-2136

【開館時間】9時30分～17時（入館は16時半まで）

【観覧料】一般300円 小中学生150円

※団体（20名以上）、高齢者（65歳以上）、身障者等割引あり

【休館日】月曜日

【主催】面河山岳博物館、石鎚山系生物多様性保全推進協議会

【展示協力】愛媛県県民環境部環境局自然保護課、NPO法人西条自然学校
認定 NPO法人四国自然科学研究センター

＜キリトリ＞
面河山岳博物館 R3年 春の企画展
「石鎚山系のニホンジカ～知ろう！シカのこと、森の今～」

割引券 所定額より
50円引きいたします。

※本券1枚で2名様有効、1組1枚まで利用可、他の割引との併用不可